

耳栓式熱中症計

産業保健管理学 堀江正知 他

利用分野

外耳道温を連続的に且つ高精度に測定することで、外気温に影響されことなく、核心温を推定することが可能な熱中症計を提供する。



シーズ

外耳道上の複数の測温部から得られる測定値をもとにして外気温が外耳道温へ及ぼす影響を補正し、推定された鼓膜温と核心温の関係から熱中症を予測する技術である。

ニーズ

従来、熱中症対策として、環境温度を測定するWBGT計や簡易熱中症計が知られている。一方、暑熱環境下における体温上昇には個人差が大きく、熱中症予防には、環境温のみでなく、各個人の核心温を知ることが極めて重要である。核心温としては、食道温、直腸温、鼻腔温などがあるが、鼓膜温が最も簡便である。しかしながら、外気温の影響を受けやすい等の課題があった。

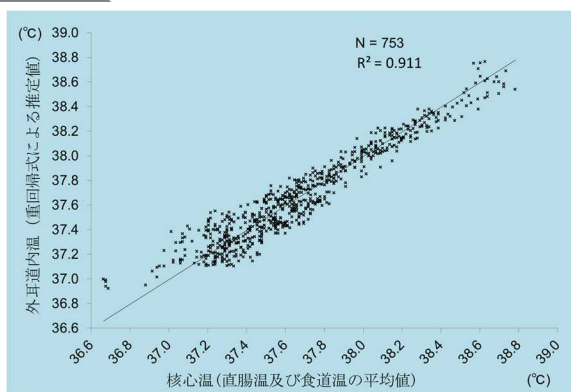
連携分野

試作機による実用化試験はある程度終了しているが、製品化に向けた課題が残されている。



知財保護

特許第6338182号



推定外耳温と
核心温は有意
に相関



本学マスコットキャラクター
ラマティエ



産業医科大学 産学連携・知的財産本部
〒807-8555
福岡県北九州市八幡西区医生ヶ丘1番1号

問い合わせ先: 研究支援課
TEL: 093 (280) 0532
FAX: 093 (691) 7518
E-mail: chizai@mbx.pub.uoeh-u.ac.jp